

「励ましと慰めの教会」
使徒言行録 20 章 1-12 節

4 節には、パウロに同行した者として多くの人たちの名前が載せられていますが、この人たちは、いったいどんな人たちだったのでしょうか。最初に登場しているソパトロは、ベレア出身であったと記されています。アリストアルコとセクンドはテサロニケ出身であると記されています。この二つの町は、パウロが第二次伝道旅行で訪れたマケドニア州の町でした。それからガイオとテモテはデルベ出身だと記されています。デルベというのは第一次伝道旅行で訪れたガラテヤ州の町の一つです。そしてティキコとトロフィモはアジア州出身だったとあります。アジア州にはパウロが今回の第三次伝道旅行で拠点としたエフェソ教会があります。ですから、このパウロの同行者たちというのは、かつてパウロが訪れた町々の教会の代表者たちです。それも異邦人教会の代表者たちです。その人たちがエルサレム教会のためにと各地の教会で捧げられた献金を携えて、エルサレムに向かおうとしているのです。

ここでの出来事に、教会の一致のしるしを見ることができます。5 節から突然、「わたしたち」と主語が一人称複数になっていますが、この時に使徒言行録を書いたルカが旅に合流したから「わたしたち」になったと解説されることがあります。しかし、それよりもここで強調されていることは、パウロを含め、各地からやってきた人たちが「わたしたち」になった。教会の一致という「わたしたち」になったということです。

このようにしてトロアスで合流して大きくなった「わたしたち」が、礼拝をすることになりました。その礼拝の最中、大変なことが起こってしまいました。エウティコという青年が、眠りこけて三階から下に落ちて死んでしまったのです。当然、その場は騒然となったことでしょう。もはや礼拝どころではなくなりました。パウロも三階から降りて来ます。ところが、パウロは死んでしまったエウティコを抱きかかえて言うのです。「騒ぐな。まだ生きている」と。これは、死んだと思っていた青年がじつは生きていたということではありません。12 節には、はっきりと「人々は生き返った青年を連れて帰り」とあるように、エウティコは死んだのに生き返ったのです。つまり、礼拝の最中で死んだ青年が生き返るという奇跡が起こったのです。

では、聖書はここで、パウロが人を生き返らせる奇跡を行ったということを伝えたいのでしょうか。確かにそれもあるでしょう。かつてイエスさまは、死人を甦らせる奇跡を三度行われました。使徒ペトロもタビタという女性を蘇らせたことがあります。それと同じ奇跡をパウロも行った、そう読むこともできます。しかし、どうも強調点が違うようにも思います。この出来事はこう結ばれています。「人々は生き返った青年を連れて帰り、大いに慰められた。」

どうして人々は慰められたのでしょうか。青年が生き返ったからでしょうか。確かにそれもあります。でも、それだけではありません。青年の転落死によって、礼拝は中断されてしまいました。私たち人間の営みには中断がつきものです。思いがけない出来事によって、あるいは病によって、そして死によって中断させられてしまう。この時の礼拝も中断されたかのように見えました。しかし礼拝は続いたのです。11 節「そして、また上に行って、パンを裂いて食べ、夜明けまで長い間話し続けてから出発した」。

死によってさえも中断されることのない力が教会にはあります。教会は死を乗り越えることができます。復活の希望があるからです。教会は罪を乗り越えることができます。イエス・キリス

トによる罪の赦しがあるからです。教会には乗り越える力がある。だからこそ、教会には慰めがあり、励ましがあるのです。

パウロにとって、トロアスの地は思い出深いところになったことでしょう。おそらく、この時の礼拝の様子を生涯忘れることはなかったと思います。また、二回目の伝道旅行の時も、このトロアスから海を渡って、初めてヨーロッパへと入って行きました。もともとパウロにそんな計画はありませんでした。むしろパウロが立てた計画は挫折して、どうにもならない状況に追い込まれたのです。ところが、そこで幻が示され、道が拓かれたのです。そうなったからこそ、今、トロアスの地で教会の仲間たちと一緒に礼拝することができるのです。パウロにとって、行き詰まりだと思っていたトロアスから、道が拓かれたトロアスになったのです。この時パウロは、神さまが拓いてくださったこのような恵みを語ったに違いありません。

神さまがこのように共におられ、道を切り拓いてくださるのですから、私たちの歩む道も行き詰まることはありません。罪によっても、病によっても、そして死によっても、この道が中断させられることはないのです。教会が持っている励ましは、この励ましです。教会で聴くことができる慰めは、この慰めです。トロアスの教会の人たちが大いに慰められたように、教会に集う私たちもまた、この励ましを受け、この慰めを得ることができるのです。